

1 学校教育目標
<p>教育目標……未来を切り拓く人間性豊かな俵山・深川っ子の育成          重点目標……○学力の定着 ○心身の成長 ○地域とのつながり</p>
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
<p>【学校経営】コロナ禍により停滞した地域との連携を少しずつ復活し、地域住民との交流を図る必要がある。          【学習指導】授業中の言語活動を充実させるとともに、タブレット端末の利便性や効率性を生かしていく必要がある。          【生徒指導】誰もが認め合える温かい集団づくりを通して、不登校生徒の減少といじめの根絶をめざす必要がある。          【業務改善】教職員に対して、時間外在校等時間を減らしていく意識を高める必要がある。</p>
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
<p>【学校経営】学校だよりや学級通信、ホームページ等を通じた積極的な情報発信と、地域貢献の機会を増やす。          【学習指導】めあてと振り返りを徹底し、言語活動の充実した授業実践と、タブレット端末活用による個別最適な学びの在り方を研究する。          【生徒指導】挨拶の指導強化、道徳の授業の充実、生徒会活動の活性化を図り、自己肯定感を高めるとともに、生徒の心の成長を促していく。          【業務改善】最長でも20時退庁の呼びかけ、ノー残業デーの推奨など、可能なことを実践していく。</p>

4 自己評価				5 学校関係者評価			
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
学校経営	コミュニティ・スクールとしての取組の充実・深化	・生徒の主体的な地域ボランティア活動や地域行事への参加の取組を継続・充実させ、地域の活性化と生徒の成長につなげる。	○地域連携の取組(R3後期70%) 4:生徒肯定的回答72%以上 3:生徒肯定的回答70%以上 2:生徒肯定的回答68%以上 1:生徒肯定的回答68%未満	3	■「生徒たちは、地域行事やボランティア活動に参加して成長していると思う」という生徒への問いの肯定的回答は、前期70%、後期71%であった。昨年度と同程度の状況である。地域行事が再開しつつあるので、引き続き生徒に地域との関わり大切さを意識させていきたい。	▼イベントボランティア等で、生徒が積極的に動いているのを見てうれしく思った。▼中央公民館に中学生のメッセージが掲示してあるのを楽しみにしている。▼俵山小の学習ボランティアや地区の産業文化祭への参加に感謝している。▼地域行事に積極的に参加する姿に好感をもつ。▼生徒たちの地域とのつながりを深めたいという思いの強さを感じた。▼コロナ禍でできなかった行事もあるが、これからは地域からも声をかけたい。▼、学校だよりやHPで、学校の状況がよくわかる。▼HPIにPTA広報紙も掲載してほしい。	A B C D E
	積極的な情報発信	・ホームページを日々更新し、内容を充実させる。 ・校長室だより(週1)と学校だより(月1)の紙面を充実させる。	○情報発信の取組(R3後期96%) 4:保護者肯定的回答98%以上 3:保護者肯定的回答96%以上 2:保護者肯定的回答94%以上 1:保護者肯定的回答94%未満	3	■「学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学級通信、HPなどで学校や生徒の様子がよくわかるようにしている」という保護者への問いの肯定的回答は前後期とも95%であった。引き続きホームページの更新や各種たよりの紙面充実を図っていきたい。		
学習指導	誰もが「わかる、できる」授業の実現	・特別支援教育の視点を踏まえた授業づくりを進める。 ・小集団学習を推進する。 ・タブレット端末を活用した授業を試行する。	○「わかる授業」の取組(R3後期90%) 4:生徒肯定的回答93%以上 3:生徒肯定的回答90%以上 2:生徒肯定的回答85%以上 1:生徒肯定的回答85%未満	3	■「授業内容がよく分かり意欲的に取り組むことができていく」という生徒への問いの肯定的回答は、前期88%、後期91%であった。引き続き小集団学習の充実等を大切にしていこう一方、端末を使った個別最適な学びの推進を図っていきたい。	▼コロナ禍で大変だと思うが、きめ細かな対応ができる体制づくりをお願いしたい。▼端末を使った学習の充実をお願いしたい。▼端末の使い方に個人差が出ないようにしていただきたい。▼普段の授業で生徒の質問に熱心に答えている先生方の対応に満足している。▼肯定的回答91.5%なので、実現できていることがわかる。	A B C D E
生徒指導	いじめの未然防止と解決	・情報を共有し、指導・支援方針を明確にして全校体制で未然防止と解決に取り組む。 ・主体的な生徒会活動を推進する。	○いじめ防止の取組(R3後期79%) 4:生徒肯定的回答85%以上 3:生徒肯定的回答80%以上 2:生徒肯定的回答75%以上 1:生徒肯定的回答75%未満	3	■「この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでいる」という生徒への問いの肯定的回答は前期76%、後期89%であった。日々の学級経営や生徒会活動の成果であるところから、引き続き、開発的生徒指導を推進しながら、教職員のいじめに対するアンテナをしっかりと張り、いじめの根絶をめざしていきたい。	▼朝夕の登校時に、どの生徒も元気で、友達同士が笑顔で話している姿も見かける。学校生活が楽しいのだと思う。▼気持ちのよい挨拶をする生徒が増えている。ただ、校外では自分から挨拶をするという姿勢は十分ではない。▼何をもち「学校が楽しい」と答えているのかというところから議論が必要。否定的回答をしている生徒のケアをお願いしたい。▼地域のことしかわからないが、朝の挨拶は好感ももてる。▼外からいじめは見えないので、引き続きいじめ根絶に向けた取組をお願いしたい。▼いじめゼロは地道に取り組んでほしい。挨拶は明るく良くできてきているので、学校も楽しそう。	A B C D E
	開発的生徒指導の推進	・不登校生徒の減少をめざし、きめ細かな連携を図る。 ・日常的な教育相談を充実させる。	○「学校が楽しい」(R3後期92%) 4:生徒肯定的回答94%以上 3:生徒肯定的回答92%以上 2:生徒肯定的回答90%以上 1:生徒肯定的回答90%未満	3	■「学校生活が楽しい」という生徒への問いの肯定的回答は前期92%、後期94%であった。肯定率は高いが、否定的回答をしている生徒がいることをしっかりと認識し、充実した学校生活にするように、さらに教職員との信頼関係を構築するとともに、教育活動の充実を図っていきたい。		
	明るく気持ちのよい挨拶の習慣づくり	・俵山・深川みずぎ学園共通取組事項の一つとして「挨拶のレベル」を示して指導する。 ・PTAや委員会活動と連携して挨拶運動を活性化させる。	○挨拶の奨励(R3後期は93%) 4:生徒の肯定的評価94%以上 3:生徒肯定的回答93%以上 2:生徒肯定的回答92%以上 1:生徒肯定的回答92%未満	4	■「学校や地域で明るい挨拶をしている」という生徒への問いの肯定的回答は前期94%、後期97%であった。2学期から横断歩道で停止した運転手への会釈を奨励し、少しずつ定着してきている。引き続き機を捉えて重点的に指導していくとともに、PTA活動や生徒会活動と連携して挨拶運動を活性化させ、爽やかな挨拶を習慣化させていきたい。	▼生徒会役員との協議では、各生徒がしっかりと目標を理解して、課題解決へのアイデアをもっていることに驚いた。生徒会と各生徒、先生、そして地域とのコミュニケーションを活性化することが、よりよい学校づくりや地域づくりにつながると思った。▼子どもから問題を聞くことはない。思春期なので日頃から「明るい挨拶」は難しくても、挨拶運動等では明るい挨拶ができていく生徒が多い。	A B C D E
業務改善	勤務状況 時間外在校等時間の縮減	・マイノーマンデーを設定する。 ・危機対応等の未然防止と早期解決のための体制づくりを強化する。	4:時間外在校等月平均45時間以内 3:時間外在校等月平均65時間以内 2:時間外在校等月平均65時間以内 1:時間外在校等月平均65時間超過	2	■4月から12月までの時間外在校等時間は、月平均64時間(前年54時間)であるが、夏季休業中の8月を除いて平均すると69時間(前年66時間)である。昨年度よりも増加している原因を探り、改善を図りたい。	▼熱意の表れとも思うが、改善していただきたい。▼持ち帰り残業に注意しながら在校時間短縮に地道に取り組んでほしい。▼先生方の長時間勤務の解消を切に願う。▼業務分担、役割分担をして、授業以外の雑務の軽減をお願いしたい。	A B C D E

6 学校評価総括(取組の成果と課題)
<p>【学校経営】学校からの情報発信については、学級・学年通信、学校だよりや校長室だより、ホームページなどで積極的に行っており、高い評価を得ている。ゲストティーチャー等、地域住民の来校者は少なかったが、地域のイベントにはボランティアや部活動で参加し、地域貢献をすることができた。          【学習指導】学習については、タブレット端末の活用が定着しつつあり、引き続き個別最適な学びについて研究していきたい。全国学力・学習状況調査等の客観的な調査では、ほぼ良好な結果が出ている。          【生徒指導】登校しぶりや不登校傾向生徒については、きめ細かく保護者や関係機関との連携に努めているが、減少には至っていない。いじめ防止については、生徒の相談から早期発見につながる事案もあり、信頼関係に基づく組織的対応の成果が表れてきている。          【業務改善】十分な成果が表れている。</p>

7 次年度への改善策(重点取組事項)
<p>【学校経営】引き続き積極的に情報発信に努めるとともに、キャリア教育やふるさと学習との関わりの中で、地域連携教育を推進していく。          【学習指導】授業中の言語活動の充実を図るとともに、タブレット端末の利便性や効率性を生かした個別最適な学びを推進する方法を研究していく。          【生徒指導】新たな不登校対策として、有効な別室活用の方法を検討し、不登校生徒の減少をめざす。          【業務改善】引き続き、20時以降の残業制限や業務の見直し等の取組を実行していく。</p>